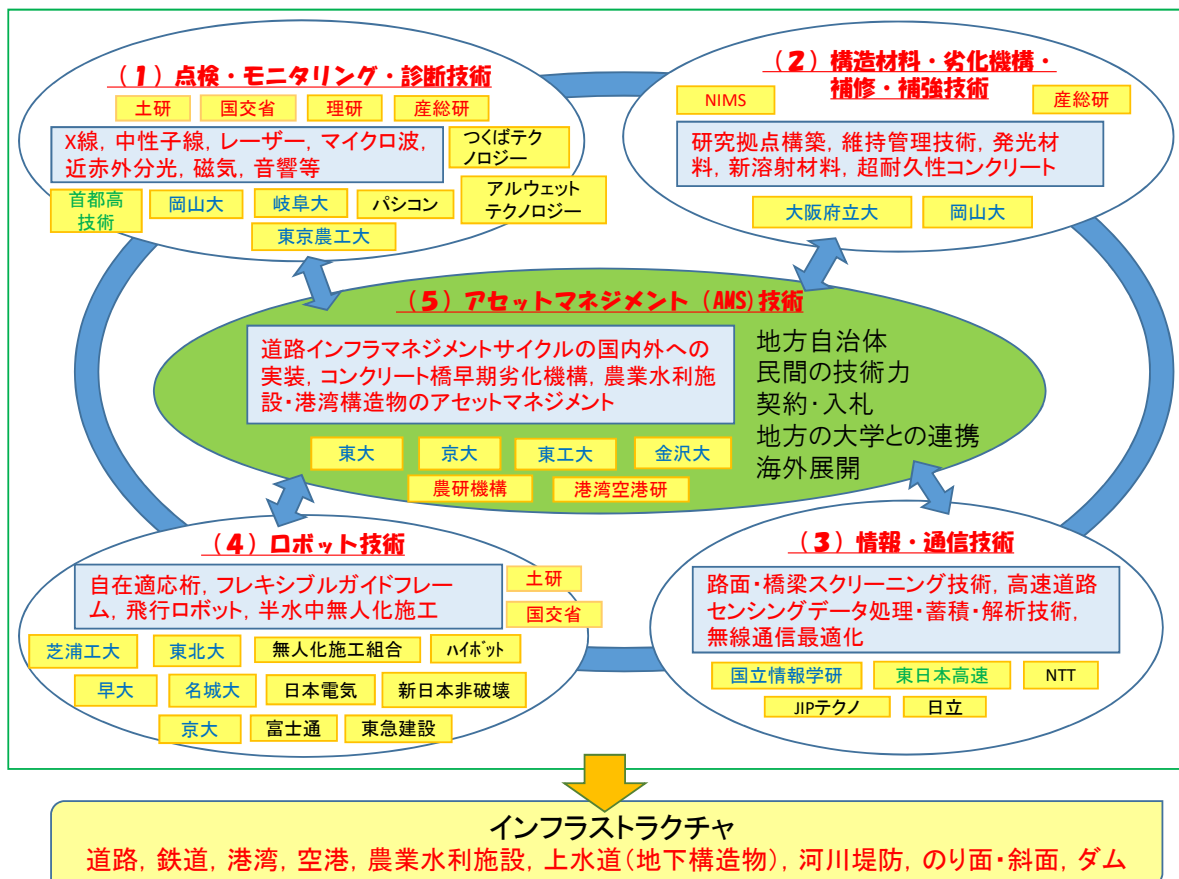


# 土木をおもしろく 新技術開発の活性化

田崎 忠行



社会資本の絶対量が  
決定的に不足していた  
時代

社会資本が一定程度  
整備され、その活用・  
メンテナンスも重要視  
れる時代

大量生産  
基準化・標準化  
コスト重視  
発注者主導の新技术  
活用

単品生産  
創意工夫  
性能+コスト  
民間主導の新技术活  
用

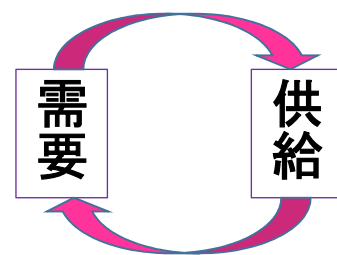


集中

分散

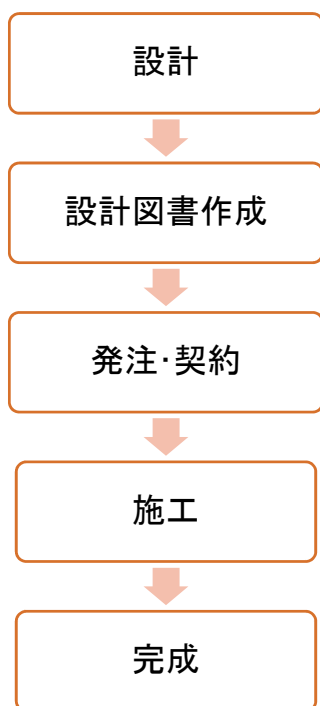
## 新技术の発案者

- 需要者  
    こんなものが欲しい
  - 供給者  
    こんなものを開発したけれど、誰か使って欲しい
- 日用品の場合は?
  - 公共土木事業の場合は?



# 一般的な公共事業執行の流れ

新技術の採用は発注者の  
キャパシティに依存



技術基準に従い設計

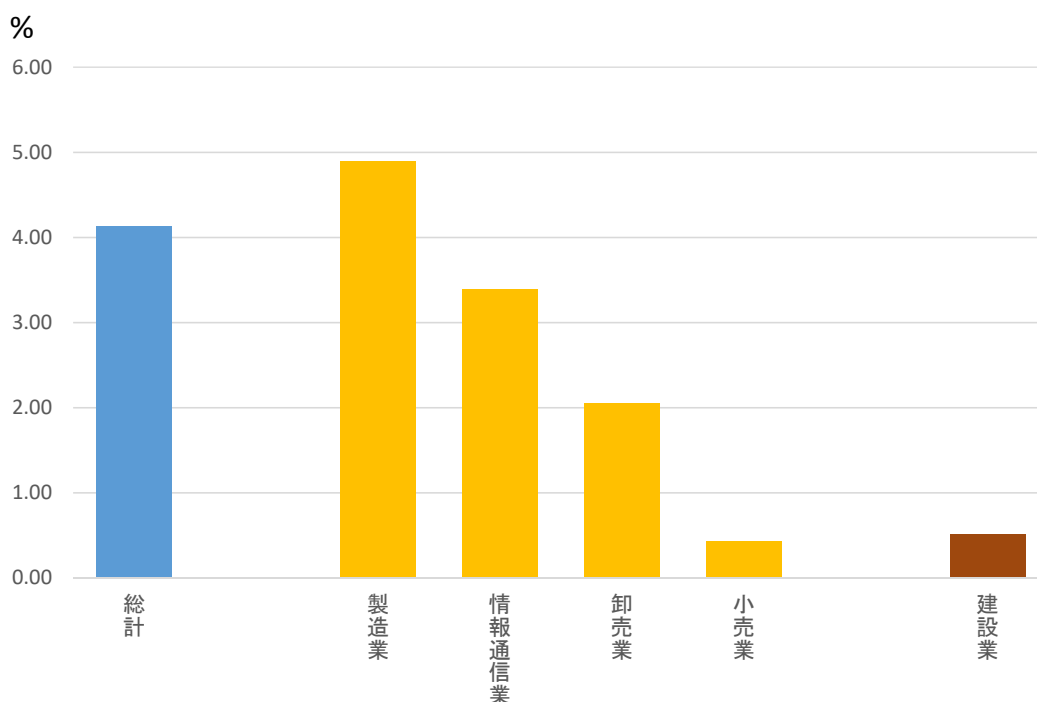
技術基準に則り、積算、仕様書作成

技術と価格で競争  
技術提案は工事目的物ではなく、主として  
施工の安全、環境、効率等に関わるもの

設計図書どおりのものを施工  
施工方法は受注者の任意

5

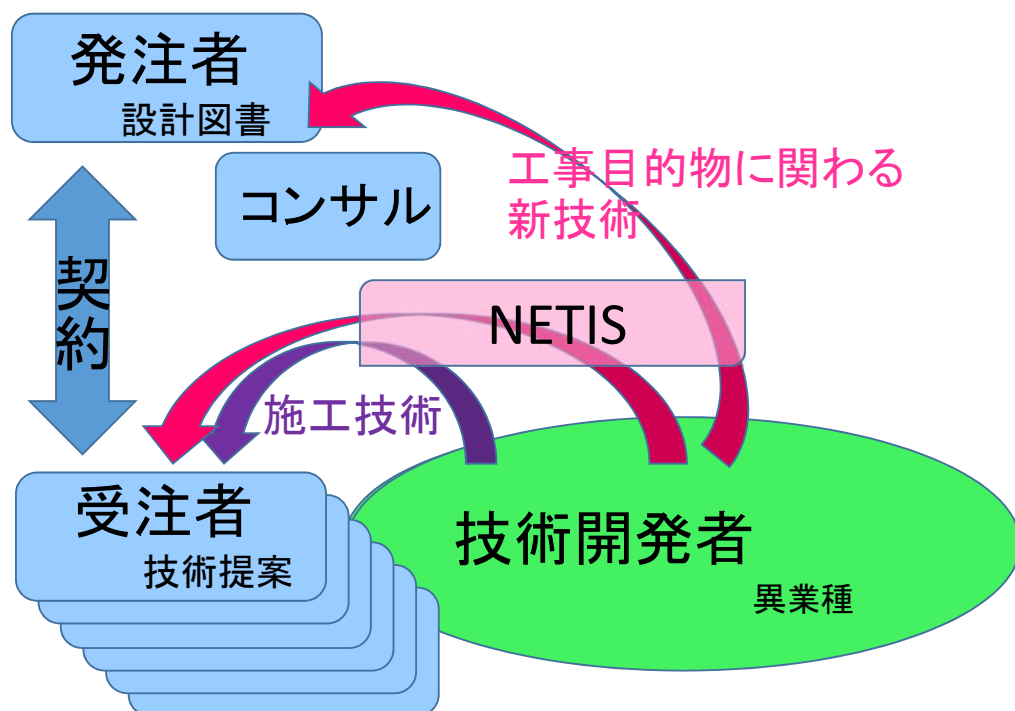
## 産業別 研究開発費/売上高



総計には建設業を含まない  
建設業は日建連調査39社平均  
建設業以外は経済産業省経済活動基本調査

6

## 新技術の活用を民間主導に



7

この仕組みを導入するには;

- 発注者は工事目的物の(仕様ではなく)性能を規定
- 性能規定の基準が必要
- 発注者の技術評価体制
- 受注者(技術提案者)も一定のリスク負担
- 保険制度

## この仕組みのポイント

- 個別案件ごとに最適な技術を提案、採用
- メーカー、ゼネコン、コンサルが共同して新技術開発する可能性
- より多くのエンティティの参画
- 発注者と技術開発者の技術対話
- 技術者の真価は、どれだけ技術的付加価値をつけられるか